

平成 21 年第 2 四半期(4～6 月)国内概況

<平成 21 年第 2 四半期 (4～6 月) >

- ◆実質国内総生産（GDP 季節調整済み=2000 年基準）は、前期比 0.9%増となった。鉱工業生産指数（季節調整済み=2005 年基準）は、前期比 8.3%上昇となった。国内企業物価指数は前期比 1.3%減、消費者物価指数は同横ばいとなった。
- ◆一次エネルギー総供給は、対前年同期比で 16.8%減となった。石炭は 31.2%減、石油合計は 17.2%減、LNG は 11.7%減、原子力は 14.4%増、水力は 17.3%減となった。
- ◆電灯電力需要は 10 電力会社の販売電力量合計で前年同期比 7.2%減少した。発電電力量は 8.0%の減少となった。燃料消費は、石炭が 9.4%、原油が 70.7%、重油が 41.9%、LNG が 2.9%それぞれ減少した。
- ◆燃料油販売は、前年同期比 10.7%減となった。原油処理量は 10.9%減、原油輸入量は 16.7%減、燃料油輸入は 18.7%減、燃料油輸出は 11.1%減となった。
- ◆都市ガス販売量は、前年同期比 9.9%減となった。部門別では、家庭用は 3.0%減、商業用は 1.3%減、工業用は 17.4%減となった。

平成 21 年第 2 四半期(4~6 月)国内概況

- ◆実質国内総生産(季節調整済み、2000 年基準)は前期比 0.9%増加となり、5 四半期振りの増加となった。内訳をみると、アジア向けの輸出増加による外需が大きく寄与し、公共投資の増加、定額給付金の施行、エコポイント制の導入などの経済政策効果により、公的固定資本形成、民間最終消費支出が増加した。しかしながら、民間企業設備は同 4.3%減となり、企業は景気の先行きに対して慎重な見方を取っている。鉱工業生産指数(季節調整済み、2005 年基準)は、前期比 8.3%上昇と 5 四半期期振りに上昇した。業種別にみると、輸送機械工業が同 17.6%増、電子部品・デバイス工業が同 36.4%増、化学工業同 9.7%増と大きく寄与した。品目別に見ると、素材生産は粗鋼が 5.4%増、エチレンが 21.2%増となった。普通乗用車の生産台数は 38.9%増となった。しかしながら、建設着工件数は前期比 21.1%減、新設住宅着工戸数は同 15.7%減となった。物価は、国内企業物価指数が前期比 1.3%減、消費者物価指数が同横ばいとなり、下げ止まりの傾向が見られる。為替相場は前期比で円安となった。今期の日本経済は、外需の増加と経済政策による内需喚起で少し持ち直した感があるが、企業は設備投資に依然として慎重な姿勢を示し、雇用情勢も悪化している。外需や政策主導によるプラス成長が今後も持続するか、楽観視できない状況が続いている。
- ◆一次エネルギー総供給は対前年同期比で 16.8%減の $113,079 \times 10^{10}$ kcal であった。石炭は、発電用及び鉄鋼業をはじめとする産業用需要の大幅減のため同 31.2%減となった。石油合計は、原油輸入量の減少(同比 16.9%減)と製品輸入の減少幅が拡大したことにより同比 17.2%減の $53,440 \times 10^{10}$ kcal と 3 期連続の減少となった。また、LNG は都市ガス用、発電用の需要減を背景に同 11.7%減となった。原子力は設備利用率の上昇により 14.4%の増加となり、水力は出水率の減少により 17.3%の大幅な減少となった。なお、輸入合計は同 20.0%減の $94,289 \times 10^{10}$ kcal となった。
- ◆電灯電力需要を見ると、10 電力会社の発受電電力量は 2,121 億 kWh となり前年同期比で 7.5%減少し、販売電力量合計は 1,973 億 kWh で前年同期比 7.2%減少した。電力需要は、産業用需要の大幅な減少により、前年同期の実績を下回った。大口電力の業種別需要実績を見ても、繊維、食料品を除く主要業種が大幅に前年同期の実績を下回った。電灯需要については、検針期間が前年同期に比して長かったことなどから、前年同期を上回った。10 電力会社の発電電力量は 1,797 億 kWh で前年同期比 8.0%の減少となった。電源別では、水力は出水率の低下の影響により、前年同期比 11.9%減の 161 億 kWh となった。原子力は新潟県中越沖地震に伴い停止していた柏崎狩羽発電所が発電を再開したこと等から設備利用率が前年同期を上回り 6.4%増の 582 億 kWh、火力は電力需要が下がり、発電量全体が減少したことにより 13.9%減少し、1,047 億 kWh となった。燃料消費は、前年同期比で、石炭が 9.4%、原油が 70.7%、重油が 41.9%、LNG が 2.9%それぞれ減少した。

◆燃料油販売は4,462万kl、前年同期比10.7%減となった。油種別に見ると、前年の揮発油税および軽油引取税の暫定税率失効に伴う特需の反動減などの影響により、ガソリンは5.1%減、軽油は10.9%減となった。軽油が2桁減となったのは、不景気による貨物輸送量の停滞で需要が落ち込んだことなども影響している。ナフサは国内外の石化製品需要低迷によるエチレン減産などにより2.5%減となったが、下げ幅は第1四半期の20.0%減に比べ改善した。灯油は気温が高めに推移したことや、石油離れが進んだことなどにより11.5%減となった。A重油は燃料転換の進展などにより17.6%減となり引き続き減少となった。B・C重油は火力発電量の落ち込みから電力用が大幅に減少し、さらに燃料転換が進んだことなどにより31.3%減となった。供給面をみると、燃料油生産は4,550万kl、前年同期比10.2%減となった。油種別に見ると、ガソリンは4.4%減、ナフサは5.3%減、灯油は1.4%増、軽油は11.2%減、A重油は17.9%減、B・C重油は19.0%減となった。

原油処理量は4,868万klと、10.9%減となった。稼働率は69.5%となり、前年同期を7.5ポイント下回った。原油輸入量は4,900万klとなり16.7%減となった。地域別に見ると、中東は、アラブ首長国連邦、イラン、サウジアラビア、クウェート等の減少により13.1%減、中東以外からの輸入量は、インドネシア、スーダン、オーストラリア等の減少により38.8%減となった。この結果、中東依存度は89.6%となり、前年同期を3.8ポイント上回った。燃料油輸入は、ナフサ、軽油、B・C重油で前年同期を下回り、18.7%減の640万klとなった。また、2007年第1四半期以降、プラス成長を維持し続けてきた燃料油輸出は、ジェット燃料油、灯油、軽油、B・C重油が前年同期を下回り、11.1%減の742万klとなった。

◆都市ガス販売量は、76億5,258万 m^3 (41.8605MJ/ m^3 換算)で、前年同期比9.9%減となった。平成20年第4四半期以降、3期連続して前年同期を下回った。用途別にみると、家庭用は気温が高めに推移し、給湯需要が減少したことなどにより3.0%減、商業用は高気温と6月に検針日数が少なかったことなどが影響し、1.3%減となった。工業用は景気悪化による既存需要の大幅稼働減が続き、前期に引き続き2桁減の17.4%減となった。部門別のシェアを見ると、家庭用が31.1%（前年同期は28.9%、前年同期比2.2ポイント増）、商業用が13.5%（1.2ポイント増）、工業用が48.2%（4.4ポイント減）、その他用が7.2%（1.0ポイント増）となった。

経済動向、エネルギー需給の推移（四半期ベース）

	2008Q2	2008Q3	2008Q4	2009Q1	2009Q2	伸び率					
						2008Q2	2008Q3	2008Q4	2009Q1	2009Q2	
主要経済指標等	実質GDP(季調済、2000年基準10億円)	563,019	557,503	538,219	521,663	526,372	(-1.1)	(-1.0)	(-3.5)	(-3.1)	(0.9)
	名目GDP(10億円)	512,939	501,403	494,860	482,127	481,254	(-1.4)	(-2.2)	(-1.3)	(-2.6)	(-0.2)
	鉱工業生産指数(2005年=100)	108.1	104.6	92.8	72.3	78.3	(-1.3)	(-3.2)	(-11.3)	(-22.1)	(8.3)
	素材系生産量(千t)										
	粗鋼	31,060	30,448	26,397	17,596	19,093	3.9	1.8	-14.5	-42.9	-38.5
	エチレン	1,737	1,735	1,577	1,471	1,699	-7.4	-7.2	-20.4	-19.8	-2.2
	セメント	14,877	15,480	16,614	14,323	13,000	-9.7	-6.6	-5.6	-9.6	-12.6
	紙・板紙	7,806	7,806	7,209	6,028	6,661	0.6	0.6	-10.9	-22.8	-14.7
	国内企業物価指数(2005年=100)	108.8	112.2	107.8	104.3	102.9	(2.4)	(3.2)	(-4.0)	(-3.2)	(-1.3)
	消費者物価指数(2005年=100)	101.6	102.6	101.9	100.6	100.6	(0.9)	(1.0)	(-0.7)	(-1.2)	(0.0)
為替相場(日銀)(¥/\$)	104.5	107.6	96.1	93.6	97.3	(-0.7)	(3.0)	(-10.7)	(-2.6)	(3.9)	
暖房度日(度日)	36	0	253	611	35	-36.8	-	0.2	-11.2	-1.4	
冷房度日(度日)	9	389	0	0	34	-74.1	-2.5	-	-	-	
一次エネルギー	総供給(ktoe)	135,983	142,166	132,330	128,565	113,079	4.9	2.1	-5.7	-9.8	-16.8
	石炭	31,854	29,566	29,826	26,729	21,908	12.6	-6.9	-4.8	-13.0	-31.2
	石油	64,569	66,437	62,963	60,681	53,440	6.9	3.7	-8.7	-14.4	-17.2
	原油	53,527	55,275	52,548	51,783	44,487	8.8	3.1	-8.8	-13.4	-16.9
	製品輸入	10,835	10,953	10,189	8,651	8,769	-1.6	6.6	-8.3	-20.3	-19.1
	天然ガス	890	890	993	1,078	816	-0.1	-0.1	0.8	9.5	-8.3
	LNG	21,667	23,004	22,108	22,089	19,125	3.3	5.2	-2.5	-6.2	-11.7
	水力	5,230	4,381	2,743	3,626	4,327	15.4	-17.5	-11.0	11.5	-17.3
	原子力	11,645	14,914	13,559	14,218	13,322	-18.8	-1.6	3.0	10.4	14.4
	地熱	128	129	138	144	140	-12.9	-11.3	-7.7	-9.2	9.3
CO ₂ 排出量(千t-CO ₂)	279,536	300,319	289,126	282,372	245,540	3.0	0.3	-8.1	-15.4	-12.2	
電力需給 (一般電気事業者)	発電電力量(百万kWh)	229,217	268,089	237,615	236,862	212,121	0.1	-0.1	-2.6	-9.7	-7.5
	水力	18,329	15,727	9,707	12,683	16,149	13.9	-16.4	-10.9	11.4	-11.9
	火力	121,639	139,892	124,927	119,665	104,702	5.2	0.6	-7.4	-21.0	-13.9
	原子力	54,694	66,954	61,623	63,835	58,211	-14.6	-1.2	3.8	9.5	6.4
	燃料消費実績										
	石炭(千t)	11,400	14,420	12,553	12,469	10,325	3.4	2.5	-4.3	-13.9	-9.4
	原油(千kl)	2,346	2,797	1,733	1,150	688	13.8	23.2	-40.5	-71.7	-70.7
	重油(千kl)	2,912	2,924	2,424	1,975	1,693	49.2	-6.3	-21.1	-47.9	-41.9
	LNG(千t)	9,665	10,922	10,155	9,996	9,390	1.0	-2.4	-1.4	-8.0	-2.9
	販売電力量(百万kWh)	212,546	243,577	213,148	219,663	197,289	0.1	0.3	-3.4	-9.9	-7.2
	電灯	63,086	71,312	66,173	84,713	64,043	-0.9	-0.4	-1.1	-3.3	1.5
	電力(特定規模需要を含む)	149,460	172,265	9,259	134,951	133,246	0.6	0.6	-94.0	-13.6	-10.8
	特定規模需要 業務用	46,856	59,110	48,513	50,074	47,111	-0.5	0.2	-0.8	-1.5	0.5
	特定規模需要 産業用他	92,555	99,111	88,196	72,481	76,216	2.0	1.5	-6.0	-21.2	-17.7
	大口電力(百万kWh)	75,097	79,356	70,570	56,545	60,905	3.1	2.3	-6.2	-23.2	-18.9
食品	4,272	4,988	4,255	3,781	4,303	1.4	1.3	-0.3	-0.9	0.7	
紙・パルプ	2,948	2,858	2,759	2,029	2,404	7.4	5.5	-1.6	-25.9	-18.4	
化学	7,961	8,188	7,557	5,650	6,088	4.6	5.2	-6.0	-28.0	-23.5	
窯業・土石	3,020	2,995	3,041	2,370	2,361	0.4	1.6	-1.4	-22.0	-21.8	
鉄鋼	10,687	9,943	8,951	5,781	6,437	6.1	4.5	-11.1	-42.0	-39.8	
非鉄金属	4,294	4,437	3,995	3,022	3,464	7.3	6.6	-7.0	-30.8	-19.3	
機械	20,262	22,291	18,630	14,515	15,561	3.1	1.4	-9.7	-28.6	-23.2	
(都市ガス販売業者)	都市ガス販売量(万m ³)	849,315	821,941	818,768	960,478	765,258	1.7	0.6	-4.2	-11.3	-9.9
	家庭用	245,437	129,367	217,589	372,188	238,040	-1.0	-2.3	-0.7	-4.0	-3.0
	商業用	104,929	142,131	105,864	123,120	103,529	-3.6	-2.1	-4.3	-5.2	-1.3
	工業用	446,365	465,935	435,736	376,643	368,487	5.3	2.3	-5.8	-20.5	-17.4
	その他用	52,584	84,509	59,579	88,527	55,202	-3.9	0.1	-3.9	-3.2	5.0
石油製品販売	燃料油販売	49,967	46,867	52,235	51,973	44,624	-0.5	-9.1	-9.9	-11.4	-10.7
	ガソリン(千kl)	14,784	14,320	14,646	13,723	14,028	1.0	-10.0	-2.0	1.2	-5.1
	ナフサ(千kl)	11,040	11,210	10,786	9,838	10,763	-4.1	-6.6	-15.2	-20.0	-2.5
	灯油(千kl)	3,373	1,759	6,435	8,683	2,985	-6.5	-29.2	-10.2	-7.7	-11.5
	軽油(千kl)	8,756	8,245	8,672	8,050	7,804	-0.8	-7.1	-6.8	-6.1	-10.9
	A重油(千kl)	4,499	3,776	4,598	5,018	3,708	-8.4	-18.3	-18.1	-19.3	-17.6
	B/C重油(千kl)	6,151	6,082	5,661	5,264	4,224	15.7	-2.9	-14.8	-26.1	-31.3
	うち電力向け(千kl)	3,487	3,683	3,059	2,594	2,036	45.6	1.4	-19.5	-41.2	-41.6
	LPG(千t)	4,021	3,613	4,201	3,990	3,550	0.1	-2.7	0.4	-9.5	-11.7
原油需給	輸入量(千kl)	58,837	60,820	57,797	56,952	48,997	9.0	3.2	-8.8	-13.4	-16.7
	中東依存度(%)	85.9	88.3	87.8	89.4	89.6	[-2.7]	[1.5]	[2.9]	[3.5]	[3.8]
原油処理量(千kl)	54,644	57,090	55,818	56,724	48,682	4.5	-2.8	-7.8	-9.1	-10.9	
エネルギー価格	通関レート(セキツウ)(¥/\$)	103.24	107.85	98.59	92.33	97.60	(-3.8)	(4.5)	(-8.6)	(-6.4)	(5.7)
	原油価格(輸入CIF,\$/bbl)	110.08	129.57	77.14	44.25	52.60	(18.1)	(17.7)	(-40.5)	(-42.6)	(18.9)
	LNG価格(輸入CIF,\$/t)	608.88	692.62	741.53	573.95	395.56	(12.2)	(13.8)	(7.1)	(-22.6)	(-31.1)
	一般炭価格(輸入CIF,\$/t)	122.38	143.87	143.93	136.75	109.47	(39.3)	(17.6)	(0.0)	(-5.0)	(-20.0)

※伸び率は前年同期比。但し()内は前期比、[]内は前年同期差。